



■ 土曜講座「平安時代の婚姻制度」



京都府庁旧本館土曜講座講演にあたり、「平安時代の婚姻制度」をテーマに講演しました。同テーマでは、令和5年5月大学コンソーシアム京都・京カレッジ、令和6年1月都草研究発表会につづき3回目となります。今回は、相続と平安女流文学者の結婚を項目に追加し、各項目にPOINTを設け、項目毎の重要点を分かりやすくしました。

今回、最も重点においたのは「妾」の概念。「一夫一妻多妾」制を主張する研究者は、「妾」を広義に捉え、藤原道綱母や源明子のように子供が官位を授かる女性も、小式部内侍の「大ニ条関白妾静円僧正母」(尊卑分脈)のように妾として子供が認知されない女性も統合しています。これに対し、差がある以上は明確に分けるべきとして、過去主張した「一夫一正妻多副妻多妾」制としました。

追加の一つ、平安女流文学者の結婚については、紫式部、清少納言、和泉式部、菅原孝標女の結婚を例に挙げ、結婚の身分秩序、それぞれの結婚年齢の違いから結婚適齢期という社会通念がなかったこと等を分析しました。講演の最後に、未だ解明されていない「平安時代の婚姻制度」について、受講者の皆さんが興味を持ち、研究していただければ、それが新たな学説を生む可能性があることを強調し、講演の結びとしました。(会員 横井 剛)

■ わくわく倶楽部祇園祭研究会 「祇園祭ちまき飾り目視調査」を実施



わくわく倶楽部 祇園祭研究会では、これまでに「祇園祭検定問題」作成、「祇園祭山鉦に見られる動物調査」をまとめてきました。今回は、山鉦町と地域の繋がりをちまき飾りから探ってみようという趣旨から「祇園祭ちまき飾り目視調査」を始めました。部員が各町内を歩き、目視できる範囲で、ちまきの種類と数を調べました(令和5年12月～令和6年5月)。中京区のうち15学区、下京区のうち10学区、合計25学区内の651町を調査した結果、総数2,585本を確認しました。ベスト3は、長刀鉦703本、函谷鉦284本、菊水鉦188本です。

かつては山鉦を持たない町が、山鉦町を経済的に支えるという仕組みの「寄町制度」(明治5年に廃止)があり、現在でも山鉦町と元寄町との関わりがあるか、ちまき調査を通して見いだせないかという点も、調査を始めたポイントでした。今回の調査ではその関係性は見出せませんでした。祇園祭宵山期間中に、各山鉦の会所を訪ね寄町のことを伺いましたが、ほとんどが現在は関係はないという回答でした。目視調査の結果どおりといえます。

その時に、必要な数のちまきを確保するのに苦労しているという話も多くの方々から聞きました。また、山鉦町を歩いて調査していると、マンション、ホテル、駐車場が多いということに気づき、昔のような祇園祭と町との関わりが薄くなってしまっているなど感じました。祇園祭を変わず継承していくことには、たくさんの方が山積しているようです。(会員 植村 多賀子)

■ 第115回歴史探訪会西部会 薩長と維新三傑の史跡を巡る



このコースは、2021年に行われた「京都探訪シナリオコンテスト」において優秀賞をいただいたコースを一部変更したものです。43名の参加がありました。

重山（ちょうざん）文庫は、広辞苑の編者である新村出博士の旧宅であり、木戸孝允邸を譲り受けたものでした。その関係には不思議な縁がありました。参加者の皆様も初めての方が多く、このようなところにひっそりと史跡があり、また多くの資料を見聞きして感動しきりでした。

薩長同盟締結の場では、2016年に郷土史家の原田良子さんによって特定された1800坪もあった近衛邸別邸（御花畑屋敷）と薩長同盟の内容の説明がありました。奇しくもこの日

（11月15日）は薩長の仲立ちをした坂本龍馬の誕生日であり命日でもあります。

上善寺では、普段非公開の長州人首塚碑や観音堂・地藏堂も開けていただき、なぜ長州の首塚碑がこの寺にあるのかの説明があり、また、福原住職から上善寺の歴史、六地藏巡りや地藏盆のお話を伺いました。

続いて少し距離がありましたが、薩摩藩戦死者の碑を訪ね、維新三傑の西郷隆盛寓居跡、大久保利通寓居跡を廻り、無事コースを完結しました。

重山文庫が少し狭いため、急遽2班に分け、タイムロスが生じたことお詫びします。同文庫は月曜と金曜が開館日で入場料無料です。まだ行かれたことのない方は一度ご見学をお薦めします。

（副理事長 熊谷 喜輝）



■ 観芸祭の案内を担当して



10月28日（月）、初めて観芸祭で旧知事室・旧正庁の案内を担当させていただきました。平日の月曜日、しかもお天気が良くないこともあり、来られたのは37名。しかしながら、案内業務が初めての私にとっては好都合だったのではと思います。来場者の方々それぞれのペースにあわせ、ゆっくり説明することができました。来場者の方々も、興味を持って聞いてくださり、逆に、さまざまなお話も伺うことができました。

旧知事室の暖炉の説明時には、以前の特別公開で撮った別の部屋の暖炉の写真を見せていただいたり、展示されている古地図を見ながら五山の送り火を中学校の屋上で見た思い出話や、学生時代に正庁で演奏をされた思い出話を伺ったり。以前知事室で働いていた方からは当時の様子を教えていただく等々、楽しい時間を過ごすことができました。

事前に、都草で観芸祭案内のオリエンテーションがあり、資料もいただいていたので、ひたすらそれらを暗記し臨みました。インプットした知識をアウトプットすることにより、より自分の中で知識を定着させることができました。また、勉強していると些細な疑問が次々と湧いてきて、どんどん調べたくなりました。

一日だけの案内でしたが、来場者の方々との楽しい語らい、新しい知識の吸収および知的好奇心の刺激など、思いがけないたくさんの副産物がついた貴重な体験となりました。（会員 上原 入恵）